



和歌山の子供の確かな学力の向上をめざして

現状と課題

- 各中学校区の学校間で、義務教育9年間を見通した学習指導など、教育課程に関する共通の取組に不十分な点がみられる。
- 教員の大量退職、大量採用により、先輩教員から若手教員への知識や技術等の伝達が困難になっている。
- 子供が、主体的に学習に取り組むことができる授業改善の推進が必要である。
- 文章の内容を叙述に沿って正確に捉える力や、複数の資料や情報を適切に選択したり関連付けたりして表現する力に課題がある。
- 学校の授業時間以外に、普段全く読書をしない子供の割合が小学校では改善傾向にあるが、中学校では全国に比べて高い。
- 家で自分で計画を立てて学習している子供の割合が全国に比べて低い。

成果指標 [令和5年度全国学力・学習状況調査結果]

- 教科に関する調査結果で、全ての教科の県平均正答率が全国平均以上になる。**
- 次の学校質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。**
 - ・近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行っている学校の割合
- 次の児童生徒質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。**
 - ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う子供の割合
 - ・家で自分で計画を立てて勉強をしている子供の割合
 - ・授業時間以外に、普段、全く読書をしない子供の割合

取組

1 「チーム学校」としての組織力向上

- 「スクールプラン」、「学力向上推進プラン」に基づいた学校経営の促進
- 学校経営力向上のための管理職研修会の実施
- 義務教育9年間を見通した計画的・継続的な学習指導の促進



2 学び続ける教員の育成

- 学校の取組等を支援する「きのくに学力定着フォローアップ事業」の実施
- ミドルリーダー育成のための教員の県外派遣の実施
- 戦略的な学校経営力向上に向けた教頭の県外派遣の実施
- 授業力向上に向けた研修会の実施
- 教員の授業力向上に向けた教科研究団体の研究支援の実施

3 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

- 「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条 第二版（きのくに学習スタンダード）」の活用の徹底
- 市町村教育委員会と連携し、授業力向上をめざした指導・支援の実施
- 国語・理科授業事例集（DVD）及び動画コンテンツの活用の促進
- 学校図書館の開館と活用
- ICT活用の促進

4 学力定着のための基盤づくり

- 補充学習の充実と家庭学習の習慣化の促進
- 県提供教材の活用の促進
- 県学習到達度調査の実施による学力定着度の把握・分析
- 読書を楽しむ習慣づくりの推進



具体的な取組について



1 「チーム学校」としての組織力向上

- **「スクールプラン」、「学力向上推進プラン」に基づいた学校経営の促進**
各種調査結果やデータ等に基づき、学校評価と関連付けて「スクールプラン」を作成・公表・実行するとともに、「学力向上推進プラン」を実行するよう指導・支援する。
☆8月と2月に検証を行う。
- **学校経営力向上のための管理職研修会の実施**
各校の現状や課題に応じて、学習指導等の改善・充実に向けた組織的・計画的な取組を進めるよう指導・支援する。
- **義務教育9年間を見通した計画的・継続的な学習指導の促進**
各中学校区において、学習指導についての相互理解を深めるとともに、相互の授業参観等に取り組むよう指導・支援する。

2 学び続ける教員の育成

- **学校の取組等を支援する「きのくに学力定着フォローアップ事業」の実施**
優れた教育実践力をもつ退職教員を、学力定着に課題を抱える小・中学校（40校）に派遣し、学校の取組、若手教員の授業力や学級経営力の向上を支援する。 ☆1校当たり14回程度実施する。
- **ミドルリーダー育成のための教員の県外派遣の実施**
県内各地方で中核となる教員16名を秋田県に1週間派遣し、その研修成果を県内に普及する。
- **戦略的な学校経営力向上に向けた教頭の県外派遣の実施**
学校の課題を解決する力をもった管理職を育成するために、5名の教頭を福井県に2週間派遣し、その研修成果を県内に普及することで、学校経営力の向上を図る。 ☆管理職研修会等で研修成果を報告する。
- **授業力向上に向けた研修会の実施**
全国学力・学習状況調査結果分析を踏まえた学習指導の改善・充実となるよう研修会を実施し、学力向上を図る。
☆小学校国語・算数・理科…全教員を対象とした動画研修
☆中学校数学・理科…担当者を対象とした対面研修
中学校国語については、国語科を担当する全中学校教員を対象に、最新の教育動向を踏まえ、本県の教育課題に直結する研修会を実施することで、国語科教員の授業力を高める。
- **教員の授業力向上に向けた教科研究団体の研究支援の実施**
県内各地域の教員が自主的に集まり教科指導方法等を研究している教科研究団体に対し、研修会等を充実させるために支援する。

3 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善

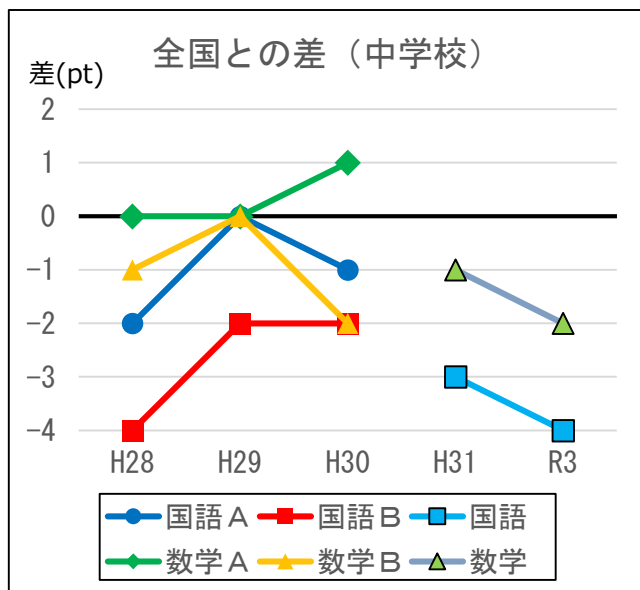
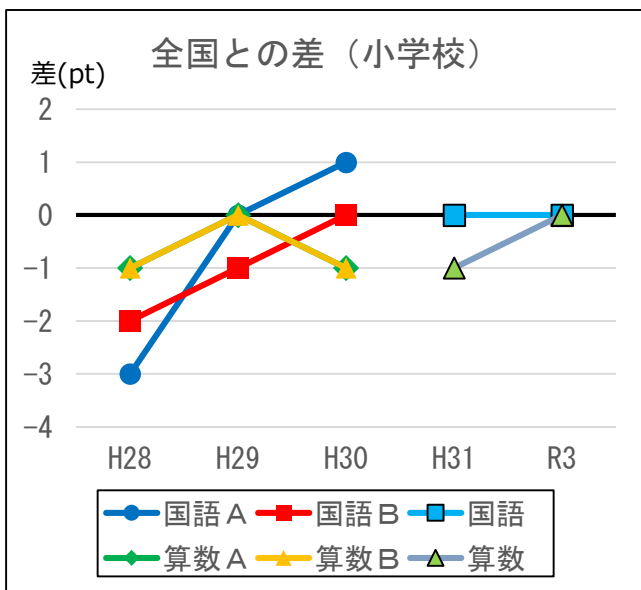
- **「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条 第二版（きのくに学習スタンダード）」の活用の徹底**
「和歌山の授業づくり 基礎・基本 3か条 第二版（きのくに学習スタンダード）」の活用を徹底するとともに、学習評価を充実するよう、指導・支援する。
- **市町村教育委員会と連携し、授業力向上をめざした指導・支援の実施**
県教育委員会と市町村教育委員会の各指導主事が連携を図り、学校訪問等を通じて授業力向上をめざした学校の取組を計画的に指導・支援する。
- **国語・理科授業事例集（DVD）及び動画コンテンツの活用の促進**
教員の授業力を向上させるため、主体的・協働的な学びの実現をめざした授業づくりの指導用映像資料（DVD）や動画コンテンツの活用を、研修会や学校訪問等を通じて促進する。
- **学校図書館の開館と活用**
学校図書館を常に活用できる環境に整えるよう、指導・支援する。
- **ICT活用の促進**
GIGAスクール構想による1人1台端末及び高速大容量の通信ネットワークを効果的に活用した学習活動の一層の充実及び授業改善に取り組むよう、指導・支援する。

4 学力定着のための基盤づくり

- **補充学習の充実と家庭学習の習慣化の促進**
放課後や長期休業等を利用した補充学習と、「家庭学習の手引き」等を活用した家庭学習を促進し、学習のつまずきの解消と家庭学習の習慣化を図るよう、指導・支援する。
- **県提供教材の活用の促進**
マスター問題集、チャレンジ確認シートの活用を促すとともに、指導改善サイクルにあわせて、評価問題、評価テスト（小学校）、個別復習教材（中学校）を提供し、学力の確実な定着を図るよう指導・支援する。
- **県学習到達度調査の実施による学力定着度の把握・分析**
当該学年までに学習した基礎的・基本的な学力の定着状況を把握し、授業改善や個に応じた指導に生かすよう、指導・支援する。
☆小4・小5…10月12日（水）
☆中1～中3…4月19日（火）／12月8日（木）
- **読書を楽しむ習慣づくりの推進**
子供の読書習慣の向上や読書に親しむ機会の充実を図るため、読書手帳の活用や一斉読書を推進する。

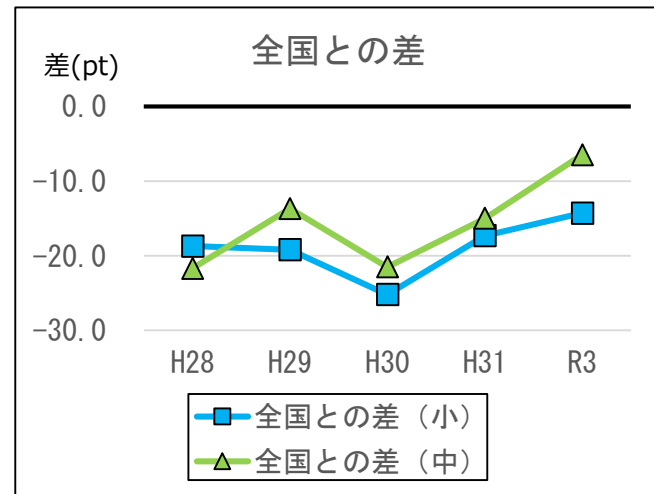
成果指標に掲げる「全国学力・学習状況調査」の調査項目の結果の推移

● 教科に関する調査結果で、全ての教科の県平均正答率が全国平均以上になる。



● 次の学校質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。

・ 近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行っている学校の割合



● 次の児童生徒質問紙調査結果が、全国の割合と同程度になる。

・ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う子供の割合

・ 家で自分で計画を立てて勉強をしている子供の割合

・ 授業時間以外に、普段、全く読書をしていない子供の割合

